

事務事業名		地域材利用普及啓発事業			会計	一般会計				
					事業種別	政策	開始	18	終了	
課等名	林務課	係等名	里山保全係							
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり							
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化							
目的	対象(誰・何を)	①工務店等木材林業関係者 ②地域市民				指標名及び単位		24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	①販路を見出す②地域産材を利用してもらう 当面は販路を開拓するための懇談会を中心に情報交換を行う。				対象指標	林業木材産業関係者数(人)		600	
	向上させたい上位施策の成果指標	林業生産額(億円)					飯田市の人口(人) (H22.10.1推計人口)		103947	
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	木材産業関係者との各種検討会参加者数(人)			400	408	400			
	定性目標									
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域材(間伐材)の利用を促進させるため、民間主導による商品開発などの取り組みに支援を行うなど、需要拡大の意識啓発活動を行う。 ・木材産業関係者との連携による地域材流通販売と生産体制について、マーケティングを実施する。 ・隣接県に大型合板工場が平成23年4月稼働し、地域材の流出など動向を見守るとともに対策の必要がある。 ・南信州共同製材施設建設によって、製材加工コストを縮減し、販路の拡大が必要。 									
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	製材加工のコスト縮減のための素材生産のコスト分析と間伐材需要拡大戦略づくり 飯田市産木材に関する情報発信、森づくり作業体験、木工体験、森林教室、林産物販売、パネル展示、地域材に関する相談や講演会開催等				参加人数			408人		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		102	154	35	143					
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他										
一般財源		102	154	35	143					
人件費計(千円)②		0		536						
正規職員所要時間				150						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		102	154	571	143					
事業内容・目標達成状況の振り返り	目標が達成できた。									
改革改善の考え方	①問題点	住宅着工戸数の落ち込みにより、搬出される間伐材等の利用が進んでいない。								
	②改革提案	新たに、製材施設「ほうりん」が稼働し、販路拡大の必要がある。								